

自然と生き物の色々な話

～お花見以外のサクラの役割～

気がつけば3月。卒業、進級の時期の植物といえばやっぱりサクラ!

花を見るのももちろん良いですが、さまざまな用途で使われるサクラにも注目してみましょう。

ソメイヨシノ



ヤエザクラ



サクラときいて皆さんが思い浮かべるのは、白に近いピンク色の花を咲かせる染井吉野(ソメイヨシノ)か、花が大きくピンク色が濃い八重桜(ヤエザクラ)だと思いますが、それ以外にも沢山の種類のサクラがあります。

例えばサクランボができる実桜(ミザクラ)や山に咲く山桜(ヤマザクラ)などです。

ミザクラ



ヤマザクラ

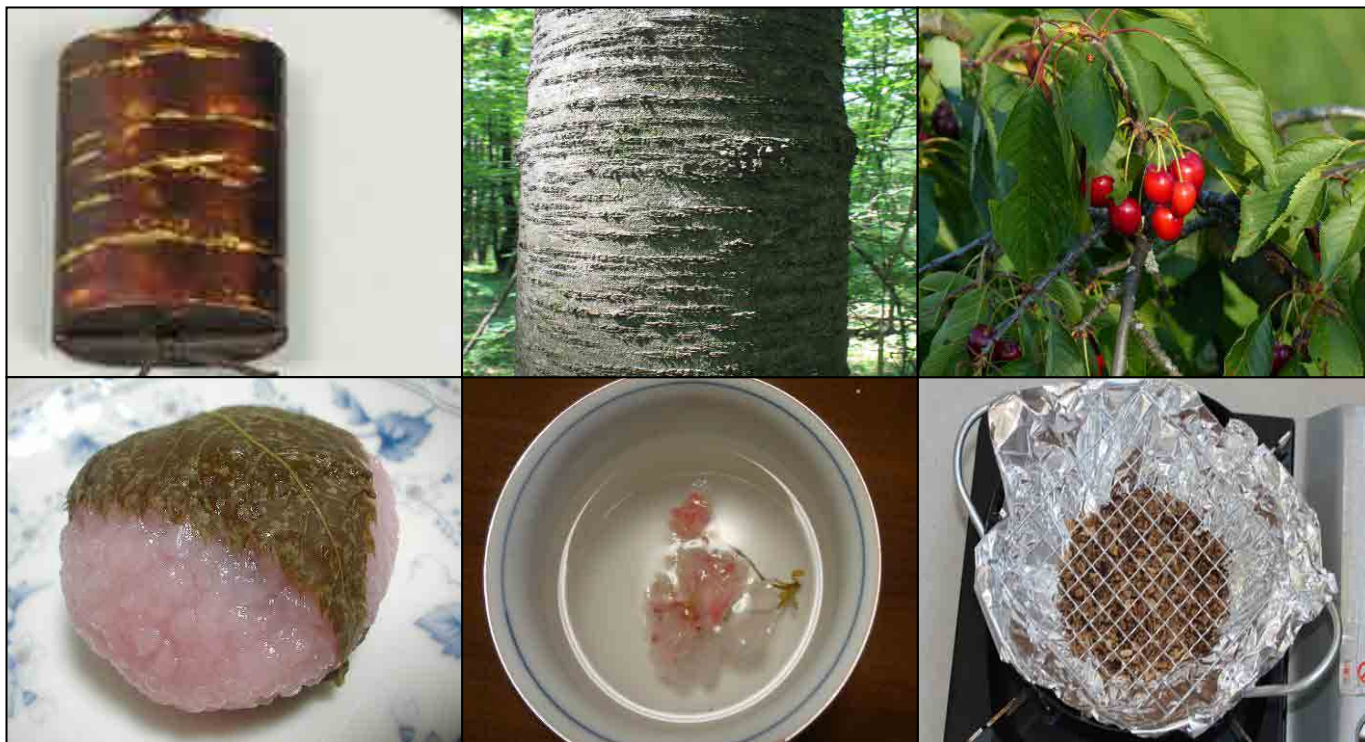


サクラは日本各地で愛されてきており、「花は桜が1番良い」と童話「一休さん」のモデルになったお坊さんも言ったと伝えられているほどです。

昔から親しまれてきたサクラは花見をして楽しむこと以外にもいろいろな所で使われています。



はなみいがい お花見以外のサクラについて



はなみいがい
花見以外にもサクラはさまざまな用途に使われています。

<p>樹の皮を使う サクラの樹の皮は滑らかで手触りが良いため、小物の材料、特に日本の伝統工芸品の材料になります。(写真は昔の薬入れ)</p>	<p>木を使う 楽器や家具、床板などに使われています。 堅くて冷たい手触りで、高級な木材です。</p>	<p>実を使う サクランボとして食べます。ソメイヨシノにもサクランボはできますが、それは甘くない上、渋みがあり、おいしくありません。</p>
<p>葉を使う 桜餅を包む葉っぱはサクラの葉っぱです。 葉っぱを塩漬にして使います。 ちなみに関東と関西では桜餅の形が違います。 写真は関西風の桜餅です。</p>	<p>花を使う 花を食べることができます。 塩漬にした花をあんパンのくぼみに入れたり、お湯に入れてお祝いの席で飲んだりします。</p>	<p>その他 木を細かくチップにしたもので、燻製に利用したり燃料として使うこともあります。</p>

みな
皆さんも身近にあるいろいろなサクラを探してみましょう。

